

新年のごあいさつ——明けましておめでとうございます

●「人の話をじっくり聞くことでこれまで多くのことを学びました（アーネスト・ヘミングウェイ）」

聞くこと自体はもちろん、自分の学びにしていこうという姿勢が大切なのだと改めて思った。つい聞いた気になって、自分に引き付けて理解しようとしてしまいがちなこと、つい自分側の話をしてしまうことを深く反省。じっくり聞いて学びにつなげていくことを実践していきたい。

（茂垣 達也）

●最混雑時は1時間に27本が運行され拙所そばを走る中央快速線にも、この3月から2両のグリーン車が組み込まれ、営業が始まる。料金は基本最低750円。激減した「みどりの窓口」は行列の一方、人手不足の時代に検札要員を必要とし、僅かな理由で遅延する過密な路線への導入、格差社会の仕上げを感じさせる。なおグリーン車は、かつて奢侈税の一種、通行税（10%）を徴収したが、消費税導入とひきかえに廃止された。失われた30年、感覚が変わったとつくづく思う。（鈴木 岳）

●2024年には複数回にわたり、医療福祉生活協同組合連合会が前年に実施した組合員活動調査の個票を見せて頂いた（お忙しい中、受け入れて下さった連合会の皆様には厚くお礼申し上げます）。興味深いのは、一般的には矛盾すると考えられるような答えが珍しくないことだった（組織の好感度はとても高いが、取り組みについてはあまり知らない、組織に対する好感度は低いのに、活動には積極的に参加している等）。このような一見矛盾して見える人々の行動の中にある合理性について考え続けたいと思う。

（山崎 由希子）

●今年は少し落ち着いて、自分の好奇心が本来どこに向いていたかなどを見つめなおせると良いかなと考えています。目の前のことを次から次へとこなしていく毎日を最近では送ってしまっているのですが、長い目でみて、自分の研究活動をどのように発展させていくのが良いのか考えながら、日々の仕事はその糧となるようにしていきたいと思います。

（宮崎 達郎）

●最近、新聞やテレビで「中年の危機（ミドルエイジ・クライシス／ミッドライフ・クライシス）」が特集されていた。アメリカ・ダートマス大学のデービッド・ブランチフラワー教授の研究によると、幸福度と年齢の関係はU字型を描き、中年で幸福度が最も低くなる傾向があるとのこと。

今年40歳を迎え、中年期に突入する。中年期の充実に向けて、気持ちを新たに、日々を無駄にすることなく挑戦する一年にしたい。

（中村 由香）

●2024年1月1日、帰省途中に新潟県西部で能登半島地震の揺れに遭遇しました。発車を待っていた気動車は横倒しになりそうなほど大きく揺れ、そのまま運休に。急遽駅前のホテルに宿泊しましたが、様々な情報が飛び交う中で正確なことがわからず不安な一夜を過ごしました。災害への備えの必要性和同時に確かな情報を受発信することの大切さを改めて感じています。（三浦 一浩）

●2024年には3月号「健康寿命の延伸のために」、9月号「小売・物流における変革の方向性～人手不足社会を迎えた中で～」を企画した。次は2025年6月号で「超々高齢社会における生協の可能性」を特集テーマとする予定。これからも生協、協同組合、地域社会そして日本社会の未来に向けて幾ばくかでも役立つ仕事ができたら…と思う。

（西尾 由）

●2024年は私にとって激動の年。元旦の能登半島地震、3～4月には定年退職&嘱託職員生活スタート、そして想定外だった生協総研への出向が重なりました。応援している横浜F・マリノスがACL準優勝、バイスターズが日本一になるという嬉しいニュースも。未だに「何を研究されているのですか？」と質問されるたびに答えに困ってしまいますが、等身大で頑張ります。今年もよろしくお願いたします。

（柳下 剛）



●物心ついた時から春夏秋冬、季節は巡ってゆくものでした。ところが最近、暑い日差しに大汗をかいた次の日、北風にコートの襟を立ててしまうような異常な天気を何度も経験しています。「100年に1度」という言葉も毎年聞くようになりました。「いつかいつか」と思っていた不安が現実のものになっています。もう遅いのかも知れない。でも何かしなければと強く思う2025年、年の初めです。
(石川 弥生)

●今年は公益法人制度改正の年となりますが、改正の目的は、より効果的な公益活動を行うことにあるようです。改正内容は細かく多岐にわたりますが、その概要説明会等を通じて他の公益法人の動向を見聞きする機会にもなっています。民間だからこそできる調査、研究、助成、情報発信、交流について、改めて考えます。
(茂木 夏子)

●今まで何ともなかったのに、突然化粧品にかぶれたり、体調を崩したり、昨年は病院に多くかかりました。段々体力も衰えてきている気がします。2025年は無理せず、しかし体力アップのためなるべくたくさん歩こうと思います。
(鷺見 佐和子)